

2013年5月7日

加盟団体 代表者 殿  
加盟団体 競技委員長 殿  
ブロック連盟 理事長 殿  
ブロック連盟 競技委員長 殿

国内事業本部長 下山 隆志  
国内事業本部・国内競技委員会  
委員長 山野上 聖一

### 『危機管理』再徹底のお願い

若葉の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本委員会の諸活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、5月1日より大阪で開催されておりました『第62回黒鷲旗 全日本男女選抜バレーボール大会』におきまして、一部メディアにも取り上げられたように選手が負傷する事故が発生致しました。

かねてより『危機管理』につきましてご連絡・徹底のお願いをさせて頂いておりますが、再発を防止するためにも改めてご連絡致しますので、今一度の徹底を宜しくお願い致します。

#### ■事象

セット間のボールを使った練習時にレシーブする選手がスライディングをした際、フローア床材の一部がユニフォームを貫通し、腹部に刺さり負傷した。(全治2週間)

#### ■徹底依頼事項

- ・競技場(体育館等)との事前打ち合わせ及び使用施設、用具の事前確認
  - 体育館フローアの亀裂、破損や用具の破損がないか施設側に確認を求めたうえで、主催者としても十分にチェックする
  - 危険箇所は、床板補修やマスキングテープなどで一次補修対応するよう施設側に依頼する
  - 大会期間中は、試合間やセット間に役員で入念にコートチェックを実施する
- ・負傷や事故発生時の連絡系統の確認・徹底
- ・応急処置対応の確認(医師、看護師、医務室、担架等の準備・確認)

※上記の通り、取り急ぎご連絡させて頂きませんが、その他、危機管理体制の詳細につきましては適宜ご連絡致します。既報の危機管理マニュアル等を基に十分なご対応を宜しくお願い致します。